



修学旅行で 学んだこと



修学旅行で学んだこと

「現地でしか分からない平和の
大切さや様々な文化を学び、集
団行動のなかで規則を守り、友
達とのつながりを深めること」
をめあてに修学旅行に行ってきました。

6年3組
6班

平和祈念像

この像は、平和記念公園にあり、右手は原爆を、左手は平和を、表情は追悼の意を表している。
作者は長崎出身で有名な彫刻家であった北村西望さん。
毎年8月9日にはここに大勢の人々が集まり追悼の儀が行われる。
僕はここに行って作者の西村さんの平和に対する気持ちがあった。



長崎新地中華街

■中華街

中国の町並みで中華料理店がたくさん並んであり、お土産のお店もたくさん並んでいます。中華料理店が、ずっとおくまで続いていてたくさんありました。

■中華街に行って・・・

お店に入ると人がいっぱいいて、人気のお店でした。メニューの種類も多くておいしく食べられました。修学旅行のなかでも中華街での食事は、印象に残りました。

一本柱の鳥居

一本柱の鳥居とは、4つあった鳥居のうちの、一本片方を残し、もう片方は、後ろにくずれたままで残っています。この一本柱は、爆心地から900mはなれた場所にあります。しかもこの一本柱は、原爆の爆風によって上部分が30度もかたむいています。この、一本柱の鳥居は、刻まれてあった文字が爆風によってきえていることがよく分かります。

ぼくは、この一本柱の鳥居を見て900mはなれた場所でも爆風がとどくから、原爆はとてもこわいなとおもいました。

筑紫の会の方から聞いたように、核兵器はあってはならないと思いました。



T・K

長崎大学 かたむいた門柱

〈現在の門柱の様子〉



(原爆による被害)

1. 2^桁四方、高さ2.1^桁の正門門柱が、被爆当時のまま保存されています。爆風の影響で前方に9cmずれ、後方の台座との間に約15cmの隙間ができ、正面に約10度傾いたままになっています。

原爆当日、大学では1, 2年生は講義を受け、3, 4年生は附属病院の各教室にいました。木造の本館と校舎は原爆炸裂と同時に倒壊、そして火災が発生し全焼、附属病院は外壁は残りましたが内部は破壊され焼失しました。職員学生ら892人が犠牲になりました。

筑紫の会の方がおっしゃったように、こんなに重そうな門柱が爆風により傾いていたので、原爆の威力を改めて感じました。

M・K

浦上天主堂

ここは原爆の被害を受けた浦上天主堂です。爆心地からは約500mはなれた所にあります。

浦上天主堂の、直径5.5m、重さ30トンのドームが35mもふきとばされました。

12000人いた信徒のうち約8500人が爆死してしまいました。この写真の浦上天主堂は、昭和34年に鉄筋コンクリートで再建されたものです。

ぼくは、ここにいて今はこんなにきれいだから前にとても大変なことがあったとは思えませんでした。なかには、筑紫の会の方が言っていたことを物語るような物がおいてありました。



山里小学校

山里小学校の防空壕・・・

(山里小学校の防空壕)



1945年8月9日、一回目の警報が解除され、運動場では避難していた人たちがいっぱいでした。いきなりの爆音に運動場にいる人たちが防空壕めがけて走っている瞬間、ピカッとしたと思うのもすごい爆風が。広島に続いて2番目に落とされたあの原子爆弾でした。

1581人の児童のうちおよそ1300人が死亡、教職員32名中28人が死亡しました。学徒動員で勤務していた県立高女生や女子商業生も一瞬のうちにかえらぬ人となりました。

筑紫の会の方がおっしゃったように、原子爆弾は沢山の犠牲に命を奪う恐ろしいものだと改めて感じました。人々の命を奪う原子爆弾をなくす、核兵器を無くすことだと思いました。

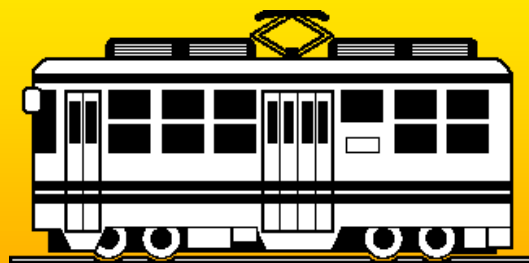
ホテルでの夜

ホテルに着いてから、まずは食事を食べました。

それから入浴したあと、班のみんなでレクリエーションをしました。

ぼくたちの班は、王様ゲームをして盛り上がったり、お話をしたりして楽しめたり、班の人たちとも前よりも仲良くなることができてよかったと思います。

S・Y



11月



14

日

木

曜日



ハウステンボス行って

1日目に平和についてしっかりと学んだあとは、ハウステンボスに行って異文化体験をしました！



ハウステンボスではお化け屋敷にたくさん行って楽しかったです。他にもいろいろなアミューズメントに行ったり、綺麗な建物も見ることができたし、最後にはお土産も買って、思い出に残りました。

M・K